

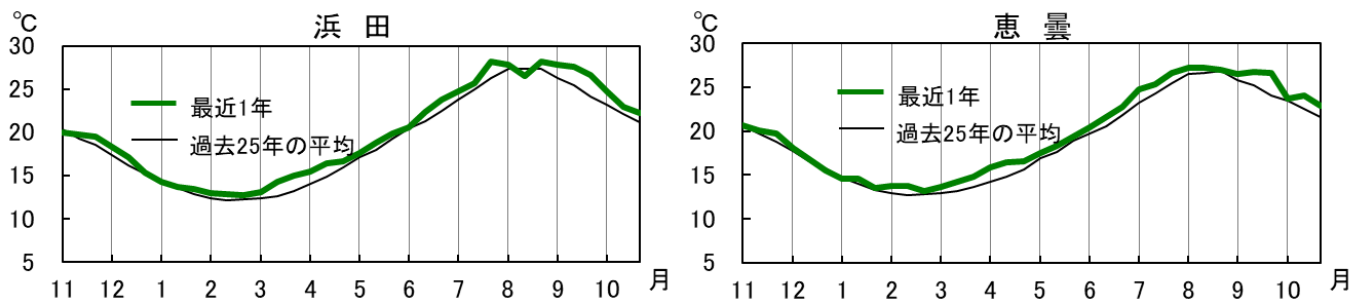


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《10月の海況》



| 10月 | 浜田 | | | 恵曇 | | |
|-----|-------|--------|------|-------|--------|------|
| | 評価 | 平均 | 平年差 | 評価 | 平均 | 平年差 |
| 上旬 | かなり高め | 23.2°C | +1.1 | 平年並み | 23.5°C | +1.0 |
| 中旬 | やや高め | | | かなり高め | | |
| 下旬 | かなり高め | | | かなり高め | | |



《10月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジが平年の6割、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではマイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は49.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは3,549トンで平年の8.7倍、ウルメイワシは2,405トンで平年の3.1倍でした。また、マアジは771トンで平年並み、サバ類は30.4トンで平年の1割となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は132.6kgで平年の約2.3倍でした。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は63.6kgと、平年並みの水揚げでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は13.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.0倍、ケンサキイカは平年の2.3倍、アナゴ・ハモ類は平年の9割でした。その他、マダイは平年の1.9倍と好調で、マアジは平年の1.1倍、ヤナギムシガレイは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の8割、アカムツは平年の6割、マトウダイは平年の5割、ムシガレイは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアンコウ類、ニギス、ヤリイカ主体の漁況で、総漁獲量は358トンでした。1統1航海当りの漁獲量は985kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の1.1倍、ニギスは平年の1.7倍、ヤリイカは平年の2.7倍でした。その他、スルメイカは平年の1.6倍、アカムツは平年の1.1倍、ムシガレイは平年の9割、マトウダイは平年の6割、ソウハチ、アナゴ・ハモ類およびキダイは平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、マアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は34.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の2.2倍、マアジは平年の1.0倍、サバ類は平年の5割でした。石見地区ではマアジ、サワラ類、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は41.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.5倍、サワラ類は平年の4.9倍、サバ類は平年の5割でした。隠岐地区ではウルメイワシ、マアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は17.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシは平年の2.8倍、マアジは平年の2.3倍、ブリは平年の9割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.9kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の8割でした。隠岐地区では、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.2kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.5倍でした。

【令和5年10月の漁獲統計】

| 漁業種類 | 地区 | 主要魚種 | 総漁獲量 | | | CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量) | | |
|-----------------|----|--------------------|---------|-------|-------|---------------------|-------|-------|
| | | | 漁獲量 | 前年比 % | 平年比 % | 漁獲量 | 前年比 % | 平年比 % |
| 中型まき網 | 浜田 | マアジ・サバ類 | — | — | — | — | — | — |
| | 隠岐 | マイワシ、ウルメイワシ | 7,316トン | 210% | 169% | 49.1トン | 189% | 162% |
| イカ釣り (5トン以上) | 浜田 | ケンサキイカ | 11.3トン | 234% | 161% | 132.6kg | 146% | 234% |
| | 西郷 | スルメイカ | 5.0トン | 412% | 148% | 63.6kg | 271% | 123% |
| 沖合 底びき網 | 浜田 | キダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類 | 235トン | 78% | 84% | 13.1トン | 87% | 96% |
| 小型 底びき網 | 大田 | アンコウ類、ニギス、ヤリイカ | 358トン | 93% | 86% | 985 kg | 114% | 113% |
| 定置網 (大型) | 出雲 | サワラ類、マアジ、サバ類 | 418トン | 140% | 86% | 34.8トン | 117% | 89% |
| | 石見 | マアジ、サワラ類、サバ類 | 123.4トン | 319% | 118% | 41.1トン | 426% | 142% |
| | 隠岐 | ウルメイワシ、マアジ、ブリ | 52.3トン | 180% | 134% | 17.4トン | 180% | 134% |
| 釣り・縄 | 出雲 | ケンサキイカ | 25.3トン | 103% | 85% | 21.0kg | 99% | 91% |
| | 石見 | ケンサキイカ | 24.6トン | 101% | 85% | 21.9kg | 111% | 112% |
| | 隠岐 | クロマグロ | 24.0トン | 78% | 94% | 23.2kg | 81% | 103% |

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ